

第 4 2 期 事 業 報 告

令和 4 年 4 月 1 日から

令和 5 年 3 月 31 日まで

岩手県空港ターミナルビル株式会社

事業報告書

I 事業の概況

1 経営環境及び業界の状況

令和4年度の日本経済は、前半は新型コロナウイルスに係る政府の行動制限がなかったことから個人消費が底堅いものとなったが、物価高が経済活動の重しとなり、後半は引き続きインフレ傾向となったものの観光支援策や水際対策の緩和などから個人消費や外需がプラスになるなど、全体としてみればやや持ち直しの動きとなった。

県内経済については、住宅投資や公共投資が弱い動きとなり、生産活動も一進一退となったが、個人消費は明るさが見られる展開となったほか雇用情勢も改善傾向で推移するなど、穏やかな回復の動きとなった。

令和4年における全国の空港利用者数（速報値）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限が解除され、国内線の運休・減便が解消し、全国旅行支援を追い風に利用客数が増加傾向となり、前年比91.3%増の1億7,820万人となった。

また、令和4年の訪日外国人旅行客数は、6月10日からの観光目的の入国受入れ再開や段階的な水際対策の緩和がなされ、特に本格的な受け入れ再開を行った10月以降顕著な回復傾向が見られたことから、前年比1,458%増の383万人と大幅な増加となった。

2 いわて花巻空港の利用状況

令和4年度における「いわて花巻空港」の国内定期便（含臨時便）は、年間利用者数が前年度より85.1%（174,496人）増の379,511人で、利用率は53.3%（前年度比13.1ポイント増）となりました。

要因としては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限が解除され、長く滞っていた県境を越えるビジネスや観光が活発化したことが挙げられます。

また、令和4年3月に発生した福島県沖を震源とする地震により、東北新幹線が一時運転を見合わせたことから、羽田便が臨時運航され6,711人の利用実績となりました。

国際定期便においても同ウイルスの影響で渡航制限が実施され、上海便が令和2年2月から、台北便も同年3月からの運航休止が継続されており、実績はありませんでした。

また、国内チャーター便は、前年度より5便増加し23便が運航されました。

(1) 国内定期便の状況（含臨時便）

路 線	乗降客数		提供座席数		利用率
	人 数	前年度比	座席数	前年度比	
大 阪	120,331 人	207.2%	215,270	160.9%	55.9 %
札 幌	69,132 人	210.1%	159,676	209.1%	43.3 %
名 古 屋	119,626 人	163.4%	212,232	109.6%	56.4 %
福 岡	32,514 人	170.1%	54,986	103.5%	59.1 %
神 戸	31,143 人	182.0%	59,536	125.5%	52.3 %
羽田（臨時）	6,711 人	146.1%	9,690	182.1%	69.3 %
そ の 他	54 人	490.9%	84	110.5%	64.3 %
計	379,511 人	185.1%	711,474	139.6%	53.3 %

(2) 国際定期便の状況

台北便、上海便は全便運休

(3) チャーター便の状況

（便数は片道ベース）

区 分	便 数	乗降客数	前年度比		備 考
国 際 線	0 便	0 人	増減なし	増減なし	
国 内 線	23 便	1,195 人	5 便増	356 人増	運航先は下記※
計	23 便	1,195 人	5 便増	356 人増	

※稚内、小松、岡山、高知、北九州、奄美、種子島、那覇、石垣

3 事業の成果及びその経過

当期の事業収支は、営業収益が 342,208 千円（前期比 19.6%増）、営業費用が 302,065 千円（同 8.1%増）で、営業利益は 40,143 千円（同 495.0%増）となりました。

これに営業外損益を加減した経常利益は 45,229 千円（同 260.1%増）となり、補助金収入を計上した特別利益と、固定資産圧縮損等の特別損失を加減し、法人税等を差し引いた当期純利益は 28,248 千円（同 91.6%増）となりました。

営業収益増加の主な要因としては、減免していたテナント賃料及び管理費の還元による施設賃貸収入の増加、空港利用者の回復に伴う直営売店売上高の増

加、レストラン委託業務再契約による委託業務収入などが挙げられます。

一方、営業費用増加の主な要因としては、退職金及び役員報酬は減少したものの、電気料金単価高騰等による水道光熱費の増加、経年劣化に伴う保守修繕費の増加、PBB 更新に伴う減価償却費の増加などが挙げられます。

なお、当期における岩手県からの財政的関与としては、花巻空港保安対策費補助金として 3,424 千円、県産材パーテーション設置に伴う空港施設設備事業補助金 1,000 千円、岩手県物産展示場の管理業務委託料 230 千円、合わせて 3 事業 4,654 千円の資金を受け入れました。

収支の状況

科 目	金 額	増減率
施設賃貸収入	256,467 千円	16.2 %
商品売上高	34,626 千円	66.4 %
広告料収入	10,656 千円	1.1 %
給油施設収入	26,899 千円	0.0 %
国際線施設収入	540 千円	— %
委託業務収入	7,022 千円	— %
その他収入	5,998 千円	△16.4 %
計	342,208 千円	19.6 %
売上原価	24,166 千円	60.9 %
販売費及び一般管理費	277,899 千円	5.1 %
計	302,065 千円	8.1 %

4 今後の見通しとその対応

当空港は、令和 6 年 2 月に開港 60 周年を迎え、国内線は 5 路線 1 日 13 往復、国際線は 2 路線週 4 往復の定期便が就航するなど、本県唯一の空の玄関口として、県民の利便性向上を始め、企業活動の活発化や観光の振興、地域間交流の拡大などに大きな役割を果たしています。

国際定期便 2 路線については、新型コロナウイルス禍で運休を余儀なくされていましたが、令和 5 年 5 月 10 日に台北便が 3 年 2 カ月振りに再開となり、今後のビジネス利用やインバウンドの誘客に向けた期待は大きいところです。

また、今年 1 月にニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2023 年に行くべき 52 カ所」で盛岡市が 2 番目に紹介され、世界中から注目を集めていることを契機とした各所での岩手の魅力の積極的な発信、キオクシア北上工場の 2 棟目の工場稼働、令和 4 年に開校したハロウィンターナショナルスクール安比ジャパ

ンの拡大、ILC（国際リニアコライダー）の誘致実現などにより、今後の利用者の増加が期待されているところです。

このため、当社では、こうした環境変化に的確に対応できるよう、関係機関と一層の連携の下、次の重点事項について積極的に取り組んでまいります。

【重点取組項目】

- 1 安全・安心を守る業務運営
災害や事故への対応力の向上、空港保安意識の徹底、サイバーテロへの警戒
- 2 お客様に満足いただける魅力ある空港づくり
空港に関わる情報提供の充実、快適に過ごせる空間づくり、環境保全への取り組み推進
- 3 地域とともに発展する空港づくり
空港独自のイベントや催事の開催、「いわて花巻空港」の知名度向上、地域と空港の連携、社会貢献活動の推進
- 4 業務品質向上
ITによる業務の効率化、業務関係資格の取得促進、社員の満足度向上
- 5 経営基盤の強化
新たな収益事業の開拓、計画的な設備の更新

当社は、こうした取組みを通じて、「お客様から親しまれ、信頼され、満足いただけるターミナルビルづくり」に、役職員一同努めてまいります。

5 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 38 期 平成 30 年度	第 39 期 令和元年度	第 40 期 令和 2 年度	第 41 期 令和 3 年度	第 42 期 令和 4 年度
営業収益	381,872	391,485	290,384	286,148	342,208
当期純利益	36,047	37,671	4,787	14,745	28,249
1 株当たり 当期純利益	1,060 円	1,108 円	141 円	434 円	831 円
総 資 産	1,249,976	1,264,161	1,262,636	1,244,808	1,291,666

II 会社の現況

1 主要な事業内容

- (1) 空港ターミナルビルの賃貸及び運営管理
- (2) 航空旅客、航空貨物及び航空事業者に対する役務の提供
- (3) 飲食物、旅行用日用雑貨及び観光土産品の販売業
- (4) 広告業及び宣伝並びに広告代理店業

2 事業所（本社所在地）

岩手県花巻市東宮野目第二地割 53 番地

3 株式の状況

- (1) 会社の発行可能株式総数 136,000 株
- (2) 期末現在発行済株式総数 34,000 株
- (3) 期末現在株主総数 11 名
- (4) 大株主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率	当社当該株主への出資状況	
			持 株 数	議 決 権 比 率
	株	%	株	%
岩 手 県	10,000	29.4	—	—
日本航空株式会社	10,000	29.4	600	0
花 巻 市	4,000	11.8	—	—
盛 岡 市	2,500	7.4	—	—
株式会社岩手銀行	1,500	4.4	0	0
株式会社日本政策投資銀行	1,500	4.4	0	0
日本通運株式会社	1,200	3.5	0	0

4 取締役及び監査役

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	高橋 達也	常勤
取締役	田中 隆司	岩手県 県土整備部長
取締役	奥野 俊介	日本航空株式会社 東北支社岩手営業所長
取締役	上田 東一	花巻市長
取締役	谷藤 裕明	盛岡市長
取締役	高原 博	日本通運株式会社 執行役員
監査役	佐藤 求	株式会社岩手銀行 取締役専務執行役員
監査役	嵯峨 圭介	株式会社日本政策投資銀行 東北支店次長

(注) 当期中の取締役の異動

- 1 令和4年3月30日開催の第219回取締役会において、令和4年4月1日付で代表取締役に高橋 達也氏が選定され、就任しました。
- 2 取締役 高橋 宏弥氏が令和4年3月31日付をもって辞任しました。
- 3 監査役 渡辺 秀幸氏が令和4年5月31日付をもって辞任し、令和4年8月25日臨時株主総会決議により、監査役に嵯峨 圭介氏(新任)が選任され、就任しました。
- 4 取締役 石崎 徹氏が令和4年6月20日開催の第41回定時株主総会をもって退任しました。
- 5 取締役 浜島 和利氏が令和4年12月31日付をもって辞任し、令和5年2月13日臨時株主総会決議により、取締役に高原 博氏(新任)が選任され、就任しました。

5 従業員の状況

(令和5年3月31日現在)

区 分	従業員数	対前年比較	平均年齢	平均勤続年数
男	9名	0名	54.7歳	9.1年
女	7名	0名	39.6歳	16.6年
合計又は平均	16名	0名	48.1歳	12.4年

6 主要な借入先及び借入金額

(令和5年3月31日現在)

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社 岩 手 銀 行	1,790,000円
株式会社 北 日 本 銀 行	1,128,000円
株式会社 東 北 銀 行	716,000円
計	3,634,000円